

はじめに

小山市文書館は、多くの市民の皆様の声にお応えして、平成19（2007）年4月11日に開館いたしました。

当館は、公文書のほか、諸家文書という古文書や古記録、地域情報の市史編纂時収集資料、現在のシティプロモーション室に当たる広報担当部署が撮影した写真など、さまざまな史料を、市民共有の財産として後代に伝えるため、収集・整理・保存し、散逸防止を図るとともに、広く一般の利用に供することを目的としております。文書館は、このように「歴史資料となる重要な公文書等を収集・整理・保存する」施設であり、「過去に学び、現在を知り、未来を創造する」ための施設です。

少しでも多くの皆様に当館を利用していただき、先人たちがどのように小山市を作り上げてきたか、小山市がどのようなまちなのかを知り、これからどのようなまちを創造するかをお考えいただければと思います。当館はそのお手伝いをさせていただくために史料の充実を図っていきたいと考えております。

なお、当館は昭和5（1930）年に栃木区裁判所小山出張所として建てられ、平成19（2007）年7月31日に「庁舎1棟」と「石蔵1棟」が国の登録有形文化財として小山市内で初めて登録された歴史的に価値のある建造物です。

皆様には今後とも当館の運営及び活動について、ご指導ご協力を切にお願い申し上げます。



目 次

はじめに	1
1 沿革	3
2 施設概要	4
3 組織	5
4 事業概要	5
5 利用統計	7
6 条例規則等	8
・小山市文書館設置条例	8
・小山市文書館管理運営規則	10
・小山市文書館における文書等収集基準	13
・小山市文書館公文書評価選別基準	15
7 文書館建物の歴史	18

1 沿 革

昭和51年 4月	・市史編さん事業開始(～昭和 62 年 1 月完了)
昭和53年 3月	・市史監修者等、古文書の収蔵・保存および公開施設の設置に関する要請書を市長等に提出
昭和58年 3月	・市立博物館開館
昭和60年 6月	・市史監修者等、市立文書館設置に関する要請書を市長等に提出
昭和62年 2月	・市議会において文書館の設置について質問。以降、十数回質問
昭和62年11月	・市立博物館が市立博物館協議会に公文書館の建設について諮問。「実現を図るべき」と答申を受ける
昭和62年12月	・公文書館法制定（昭和63年6月施行）
平成 元年 2月	・第1回文書保存講演会を開催
平成 元年 5月	・栃木婦人問題研究会小山支部が、近現代における小山市の歴史資料収集、整理及び保存に関する請願を市議会に提出（同年6月採択）
平成 5年11月	・保存庫を取得し、保存期間経過文書の受入を開始
平成 7年 1月	・文書保存庫にて公文書(有期限文書)の暫定的な選別作業を開始
平成 8年 9月	・小山市に文書館設置を進める会が、市立文書館建設についての要望書(署名約 1,500 人)と史料所蔵者からの要望書を市長等に提出(最終の署名約 7,000 人)
平成 9年 2月	・小山歴史研究会と市立博物館古文書愛好会、同古文書にチャレンジの会が市立文書館建設についての要望書を市長等に提出
平成 9年 5月	・小山市に文書館設置を進める会が、「小山市立文書館」建設についての陳情書を市議会に提出（同年6月採択）
平成10年～	・小山市公文書館基本構想検討委員会で公文書館設置について検討。(平成12年に「市庁舎と同一の施設とすることが望ましく、新庁舎建設計画において検討する」と結論)
平成17年～	・小山市文書館検討委員会、小山市文書館検討懇話会等で文書館設置について検討。(平成18年に現施設を文書館として活用することとし、「小山市文書館設置構想」を策定)
平成19年 4月	・小山市文書館開館
平成21年 4月	・小山市文書館分室開設

2 施設概要

(1) 本館 所在地 小山市八幡町2丁目4番24号

本館 木造 ・ 1階建

石蔵 大谷石造 ・ 2階建

作業室 プレハブ造 ・ 1階建

1階 19.65 m²

2階 19.65 m²

計

(延床面積)

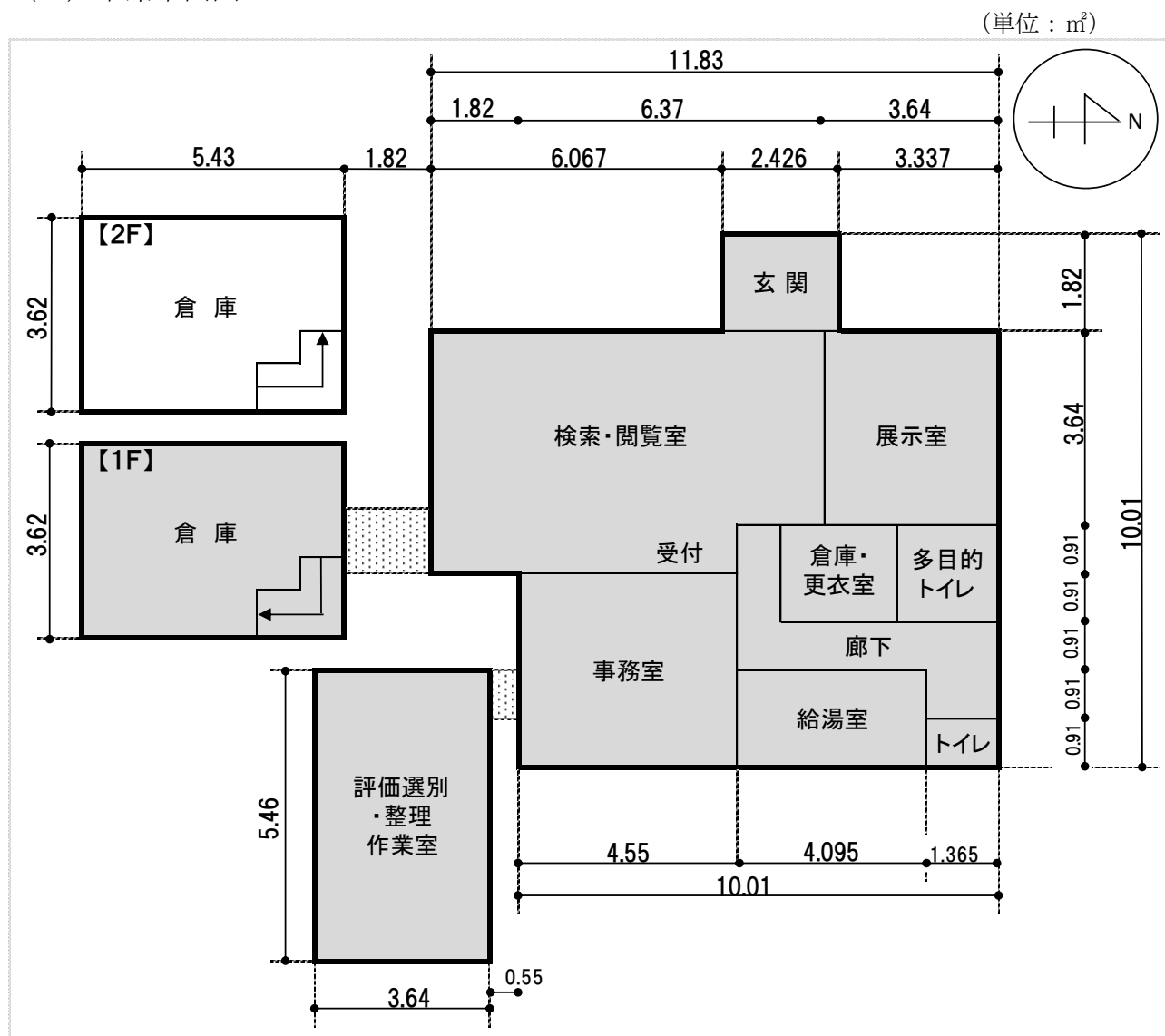
94.68 m²

39.30 m²

19.87 m²

書架延長 約125m (25m×5段)

(2) 本館平面図



開館日 平成19年4月11日

国内で50番目、栃木県内市町で初の文書館として開館しました。

(3) 分室 所在地 小山市東城南5丁目15番地8

(延床面積)

A棟	軽量鉄骨造・2階建	1階	418.49㎡	計	836.98㎡
		2階	418.49㎡		
B棟	軽量鉄骨造・2階建	1階	267.86㎡	計	535.72㎡
		2階	267.86㎡		
C棟	軽量鉄骨造・2階建	1階	350.92㎡	計	701.84㎡
		2階	350.92㎡		

書架延長 約10,973m (市の書庫を含む)

3 組織 (令和6年4月1日現在)

小山市役所総務部 行政総務課 文書館 館長を含め職員5名

4 事業概要

(1) 文書等の収集、整理及び保存に関する事業

ア 諸家文書

市内の旧家、村役人や政治家・文化人などを輩出した諸家に伝来してきた文書等を市立博物館と連携を図りながら収集に努めています。

収集した文書等は、保存環境に優れた市立博物館に管理を移管し、現在は市立博物館収蔵庫に保存しています。

イ 公文書

保存年数を経過した市行政文書は、庁内各課から移管され、歴史的に重要と認められるものを評価選別し、保存する文書について目録を作成しています。

昭和の合併以前の旧町役場や小山市役所で作成・収受した行政文書のうち、歴史的価値を有すると判断された公文書を保存しています。

ウ 絵図・地図等

市域にかかる絵図・地図等を収集し、破損の著しい絵図・地図等については補修を行うとともに、電子データ化を進めています。

エ 行政刊行物・図書等

小山市史編さん事業等で作成・加工した調査台帳、カード、統計、図面等や、写真・映像、音声記録、マイクロフィルム、FD・CD等の電子情報媒体等のほか、市行政に関する刊行物、調査研究に参考になる図書の収集を行います。



文書館分室（B棟）



文書館分室（B棟）



文書館分室（B棟）

（２） 文書等の利用、文書等に関する専門的な知識の普及及び啓発に関する事業

ア 利用（閲覧）事業

閲覧者への資料の提供を行います。また、相談・照会に応じるとともに、資料の保存に影響を及ぼさない範囲で複写サービスを行います。

イ 教育普及事業

・講座

文書館歴史講座 「『吾妻鏡』が映す小山の者共」

講 師 小山歴史研究会 関 正 氏

日 時 令和6年1月20日（土）10：00～11：30

会 場 中央公民館 第1研修室

参加者 33名

・常設展示

文書館設立までの歩み

（３） その他、文書等に関する調査及び研究に関する事業

ア 広報活動

文書館事業を広く周知するため、小山市のホームページに情報を公開しています。

令和5年度決算

款	項	目	事業名	決算額(千円)
2 総務費	1 総務管理費	2 文書広報費	文書館運営 事業費等	3, 272

令和6年度予算(参考)

款	項	目	事業名	予算額(千円)
2 総務費	1 総務管理費	2 文書広報費	文書館運営 事業費等	2, 364

5 利用統計（令和5年度）

	開館 日数	入館者数		H P 稼動 日数	アクセス数			閲覧 者数	閲覧 資料 数	端末 利用	調査 相談	電話 問合せ	分室 利用 課
		入館 者数	一日 平均		ア ク セ ス 数	一日 平均	累 計						
4月	21	10	0.5	30	95	3.2	57,801	5	3	0	1	0	28
5月	16	6	0.4	31	100	3.2	57,901	0	0	0	0	1	38
6月	21	9	0.4	30	99	3.3	58,000	7	2	0	0	0	55
7月	20	7	0.4	31	79	2.5	58,079	0	0	0	1	0	28
8月	20	8	0.4	31	111	3.6	58,190	1	4	0	0	0	20
9月	19	11	0.6	30	125	4.2	58,315	0	0	0	0	0	27
10月	19	15	0.8	31	120	3.9	58,435	4	2	0	0	0	25
11月	19	10	0.5					2	4	0	0	0	21
12月	19	19	1.0					2	29	0	2	1	23
1月	18	7	0.4					2	16	0	0	0	28
2月	19	10	0.5					0	0	0	0	0	29
3月	21	8	0.4					4	515	0	0	1	22
合計	232	120	0.5	214	729	3.4		27	575	0	4	3	344

令和4年11月文書館ホームページ一般公開を中止しました。

令和5年3月シティプロモーション課(当時)から大量の写真データ閲覧がありました。



文書館本館（閲覧室）